

教員名	木下まゆみ	所属学科	経営学科
<p><b>【ゼミでは何を学ぶのか】</b></p> <p>心理学の知識を得ることはもちろんですが、1) 自分自身の心を客観的にみつめる姿勢を身に付ける、2) 協同学習を通じて、自らの考えを伝え、他者の異なる考えを受け入れる経験を積む、この2点を目標としています。</p>			
<p><b>【どのように学ぶのか】</b></p> <p>2年生後期では、主に集団討論を通じた学習により、テキストの正確な理解および話し合いの仕方を学びます。話し合いでは、最初、自分ばかり話す人もいれば、ひたすら押し黙って時間を過ごす人もいます。討論ではこのどちらも適切な態度ではありません。言うべきことは言い、聞くべき時は聞く。この練習を積み重ねます。</p> <p>3年生前期ではディベートを行います。ディベートも、自分の言いたいことを機関銃のようにひたすら話し、相手を頭ごなしに否定する、というイメージをもたれがちです。意味のあるディベートにするためには、互いの意見の違いを研磨剤として、「論理」を磨き合う必要があります。時には当事者として、またはオーディエンスとして、ディベートの技術と心構えを磨きます。</p> <p>3年生後期は、心理学を勉強するために必要な、統計学や実験・調査の手順を学びます。実際の心理学実験を追試し、データを収集し、パソコンによる統計処理を行い、レポートにまとめます。</p> <p>4年生では、各自の関心に沿った卒業論文を作成します。論文作成に当たっては、自分にしかない疑問をもち、心理学の手法を用いてその解決を目指します。これまで培ったテキストの読解力や論理的思考力が活かされます。</p>			
<p><b>【学んだことはどのように生かせるのか】</b></p> <p>卒業生は、会社員や県庁などの公務員、教員、銀行員、会社経営者など、多方面で活躍しています。</p>			
<p><b>【おすすめの入門書・基本テキスト】</b></p> <p>『スタンフォードの自分を変える教室』は、一般書ながら、心理学、経済学、神経科学にわたる、「自分を変えるための知識」が詰まっています。</p>			
<p><b>【まだ見ぬ君へのメッセージ】</b></p> <p>心理学を学んでいると、必ずしも自分の「心」は自分の意のままに扱えるのではないことがわかります。じゃあどうするの？と思ったら、このゼミで一緒に考えていきましょう。</p>			